

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 12 月 20 日作成 第 1.0 版

研究課題名	自殺企図患者の治療継続性に精神科入院が与えた影響調査
研究の対象	2013 年 4 月 1 日から 2023 年 10 月 30 日までの間に、横浜市立大学附属病院に自殺企図のため入院し、精神科に併診依頼のあった患者さんを対象とします。
研究の目的	自殺企図患者さんの再企図率は高いと先行研究では指摘されています。なおかつ自殺企図患者さんの多くが精神疾患を患っていることが明らかとなっており、精神科治療の中断が自殺の再企図の要因の一つと考えられています。精神科治療の継続についての国内での報告は少なくその実態調査を行います。
研究の方法	診療録から情報を収集して自殺企図で入院された方の予後に関する調査を行います。の実態調査、重症度を解析することで今後の摂食障害の治療を検討します いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2024 年 2 月 15 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2024 年 6 月 22 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2024 年 2 月 15 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身体合併症、精神疾患既往歴 2) 入院した診療科、病棟 3) 当院精神科病棟への入院の有無 4) 当院精神科病棟への入院形態 5) 退院後の精神科フォローの有無 6) 精神科フォローの形態 7) 退院後初回通院先 8) キーパーソンの有無と続柄 9) 精神科病名 10) 向精神薬内服量 11) 精神科通院歴 12) 精神科外来受診継続状況
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で、復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	<p>情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学附属病院 精神科 野口 信彦</p>
利益相反	<p>本研究は、資金を要しない研究です。必要時は研究責任者が負担して実施します。また、本研究における開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織（利用する者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 精神科 （研究責任者）野口 信彦</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 精神科 （研究責任者・問い合わせ担当者）野口 信彦 電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2540</p>	